

遠くに白い旗が見える
人が熱狂して見ている
もっと向こうにはまた違った色や形が見える

旗を立てる、遠くからでも分かるように、しるしにする
形のない、全体のないところにしるしを与えて1つに統合する
知ってしまっている時点でそのように見ることができてしまうこと、そのこと自体から
逃れられない
だけどそう見えているそれ自体となりの人とすら違っている、統合されているような気
がしているだけ、
それ、らしく、見えているということ、
自分がそう見えててしまっていることの位置を確認しようとすることはできる、明確な座
標はわからないけど

遠くに白い旗が見える
向こうからはこちらは大きい数のうちの1としてしか見えていないらしい

隣に立っている人にあれはなんないと聞いた
立っている人は「白い旗なんて見えないよ」と言った。